

## 2022年8月のガス料金について (見附地区)

2022年6月29日  
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、2022年8月検針分に適用する従量料金単価を、別紙のとおり、2022年7月検針分に比べて、見附地区は1㎡あたり+2.42円(税込)調整させていただきます。

これは、2022年3月～2022年5月のLNG平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格による原料費調整を行うものです。

標準的なご家庭(月間のガスご使用量が38㎡の場合)では、2022年7月適用料金と比べて1カ月あたり、92円(税込)の引き上げとなります。

なお、2022年8月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>  
北陸ガス株式会社  
企画グループ 本間  
TEL 025-245-2214

## 料金表（2022年8月）

- 供給約款料金（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）  
 2022年7月に適用する従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり、+2,42円（税込）調整させていただきます。なお、基準従量料金単価に対して、+50,32円（税込）調整して料金を算定いたします。  
 また、基本料金は変わりません。

見附地区（43メガジュール/m<sup>3</sup>）

（税込）

	月間使用量区分	基本料金	従量料金（1m <sup>3</sup> につき）
料金表A	0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> まで	660,00円	152,12円
料金表B	24m <sup>3</sup> 超～243m <sup>3</sup> まで	886,60円	142,81円
料金表C	243m <sup>3</sup> 超～	2,162,60円	137,57円

【ガス料金の計算式】

1カ月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 従量料金単価  
 （上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

見附地区（43メガジュール/m<sup>3</sup>の場合、税込）

ご使用量	2022年8月料金	2022年7月料金	増減額	増減率
38m <sup>3</sup>	6,313円	6,221円	+92円	+1.48%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1カ月あたり平均（2016年度～2020年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2022年3月～ 2022年5月原料価格	2022年2月～ 2022年4月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 （貿易統計値）	96,850円/t	93,910円/t	36,600円/t
平均原料価格	96,850円/t	93,910円/t	36,600円/t

■平均原料価格の算定

平均原料価格 = LNG平均価格（2022年3月～2022年5月貿易統計値） × 1.0000  
 = 96,850円/t × 1.0000  
 = 96,850.000円/t  
 ↓（10円未満四捨五入）  
 96,850円/t

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 96,850\text{円/t} - 36,600\text{円/t} \\ &= 60,250\text{円/t} \\ &\quad \downarrow (\text{100円未満切捨て}) \\ &= 60,200\text{円/t}\end{aligned}$$

■調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

<見附地区>

$$\begin{aligned}\text{調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.076\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 60,200\text{円} / 100\text{円} \times 0.076\text{円} \times 1.10 \\ &= 50.32720\text{円/m}^3 \\ &\quad \downarrow (\text{小数点第3位以下の端数は切り捨て}) \\ &= 50.32\text{円/m}^3\end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を1 m<sup>3</sup>あたり0.08360円(0.076円に1.10(1+消費税率)を乗じた値)調整します。

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+50.32円(税込)調整します。
- 2022年7月に適用する従量料金単価と比較した場合、1 m<sup>3</sup>あたり+2.42円(税込)調整させていただきます。